



石川労福協

第 485 号 2008年6月25日

発行所 石川県労働者福祉協議会
 発行責任者 上田弘志
 編集人 綿 征一
 〒920-0024 金沢市西念3丁目3番5号
 電話 (076) 231-1737
 FAX (076) 231-1731
<http://www.ishikawa-rofukukyo.jp>
info@ishikawa-rofukukyo.jp
 毎月1回 25日発行
 定 価 一部 20円
 昭和39年3月30日 第三種郵便物認可

石川労福協第46回通常総会

暮らしの総合サポートセンターを目指す



「21世紀・人とくらし環境に優しい福祉社会を実現しよう!」をメインスローガンに、(社)石川県労働者福祉協議会第46回通常総会が5月28日(水)13時30分からフレンドパーク石川で開催された。来賓、役員、代議員ら66名が出席した総会では、ライフ・サポートセンターを労働者福祉運動の拠点として充実・強化するため、新たに「無料職業紹介所・ジョブいしかわ(仮称)」を開設し、県内労働者の就業支援を行うことや未組織労働者の労金利用を促進する「石川勤労者互助会」の事務局を担い、さらに、福祉なんでも相談と連合石川労働相談を一体化し、子育て支援・緊急サポート事業をトータルで運営し「暮らしの総合サポートセンター」と位置づける等を盛り込んだ2008年度の活動方針を決定した。



才田専務理事



梅澤副理事長



上田理事長



橋本副理事長



綿常務理事

総会は、梅澤彰人副理事長の開会挨拶の後、総会議長に宮本一二代議員(連合石川)を選任した。

冒頭、挨拶に立った上田弘志理事長は「この一年間目に見える・行動する労福協を基本に、緊急サポートネットワーク事業や福祉なんでも相談など退職者と現役組合員、事業団体が一体で活動を展開してきた」と述べ、「6年目に入ったライフ・サポートセンターをより充実させて行く」と語った。さらに労働環境の悪化や後期高齢者医療制度、揮発油税等の負担増については「中央労福協と連携し運動を強化すべきであり、本日、石川労福協も武蔵エムザ前で街宣行動を実施した」と力強く話し、中国四川省大地震について「蘇州市总工会と交流していることを踏まえ、義援金カンパを検討したい」と協力を要請した。最後に「すべての働く人たち、退職者・高齢者との連携を強め、生活防衛と福祉の向上を図るため、石川労福協を構成する労働組合、事業団体が一致して、諸課題の前進を期そう」と挨拶を結んだ。

続いて、来賓の 澁谷秀行石川県商工労働部労働企画課課長、吉田歩金沢市産業局労働政策課長、奥田建民主党石川県総支部連合会幹事長、盛本芳久社会民主党石川県連合代表代行より順に祝辞を受けた。

議案審議では、一般経過報告と活動方針(案)、定款の一部改正(案)について才田専務理事が、一般会計・特別会計(福祉基金会計、日中友好交流会計、海外視察特別会計、県LSC会計、地域LSC会計、緊急サポートネットワーク事業会計、50周年記念会計、勤労者福祉文化会館会計)の会計報告と予算(案)および借入金最高限度額設定の件については綿征一常務理事が、会計監査報告を畑中伸之監事がそれぞれ提案し、質疑の後、全議案が承認決定された。

引き続き、任期満了に伴う理事・監事の改選について、狩山久弥理事が役員候補者を提案、全員の拍手で承認。最後に宮本議長がスローガンを読み上げ、橋本和雄副理事長の閉会挨拶で通常総会を終了した。

【2面に関連記事】

来賓挨拶

渋谷課長



吉田課長



奥田幹事長



盛本代表代行



議案に対する質問

吉川代議員(河北LSC)

①緊急サポートネットワーク事業の市町別会員数と利用状況について。

②地域LSCの幹事会での県LSC役員の出席について。

田上代議員(勤文協)

地域LSCの9地域別収支計算書について。

活動の基調

1. 労働者自主福祉活動の展開

中央・中部労福協と連携し「人とくらし、環境に優しい福祉社会の実現」にむけて、労働者福祉活動の充実を図ります。

2. 事業団体の基盤強化

労福協加盟の各事業団体が相互理解と協力で、事業基盤を強化し、労働者・退職者の生涯福祉の向上を目指します。

3. 政策制度要求の実現

連合石川および推薦議員団と連携を密にし、各自治体に対し労働者福祉施策の充実を求めます。

4. ライフ・サポートセンター活動の展開

県および地域ライフ・サポートセンターの活動の輪を広め、子育て支援、なんでも相談、無料職業紹介の各事業を展開します。

退任役員

この度、第四六回通常総会をもって、役員を退任することとなりました。在任中は、公私にわたり温かくご指導ご厚情を賜り、厚くお礼申し上げます。

理事 横山和男(生協連)
監事 畑中伸之(サーブ・流通連合)

(任期二〇〇八年五月～二〇一〇年五月)

役職	氏名	組織名
理事長	上田弘志	連合石川
副理事長	梅澤彰人	北陸労働金庫
専務理事	橋本和雄	全労済石川県本部
常務理事	才田 巖	員 外(専従)
理事	綿 征一	連合石川(専従)
理事	矢嶋 幸雄	住宅生協
理事	川口 昭一	労信協
理事	表 重雄	生協連
理事	長田 孜	北陸労働金庫
理事	水野 志郎	全労済石川県本部
理事	狩山 久弥	連合石川
理事	光林 邦彦	JAM
理事	柴田 康廣	UIゼンセン同盟
理事	柚木 光	県教組
理事	宮下 亮	電機連合
理事	春木 幸裕	情報労連
理事	西田 満明	電力総連
理事	曾谷 修	JLP労組
理事	坊 真彦	高教組
理事	嶋垣 利春	私鉄総連
理事	高 芳晴	自治労
理事	奥井 良信	JR連合
理事	酒井 敏次	運輸労連

石川県労働者福祉協議会
二〇〇八年度役員子育て支援
いしかわ緊急サポートネットワーク

全国情報交流集会

厚生労働省より緊急サポート事業を委託された団体の担当者50名が集まり、それぞれの実践を話し合う「全国情報交流集会」が5月27日(火)、東京都「女性と仕事の未来館」で開催され、石川県より直江圭祐アドバイザーと吉田寿子コーディネーターが参加した。

今回の開催の主旨は、各実施団体の病児・病後児の預かり時における具体的な留意点や、ヒヤリハット事例の対処方法について議論し、優れた取り組みを情報共有し、サポート会員、利用会員、アドバイザーそれぞれの役割や心得について共通認識を図ることにあった。

集会では、まず主催者の河合諒二(財)女性労働協会専務理事が挨拶、吉崎広明厚生労働事務官が状況報告の後、5つのグループに分かれ、3つのテーマについてそれぞれグループワークを行った。

会員募集状況/サポート状況

2008年5月31日現在

地域センター	サポート会員	利用会員	サポート回数
すず	6	5	0
わじま	2	8	0
ななお	6	3	0
はくい	1	5	0
かほく	12	49 (+3)	8
かなざわ	91 (+2)	264 (+13)	120 (+57)
はくさん	25	63 (+3)	31 (+11)
こまつ・のみ	15	28	6 (+4)
かが	3	4	0
計	161 (+2)	429 (+19)	165 (+72)

()は前月比

各グループの発表では、ほぼ各県が同様の対応であるが、中には医師会と連携してかなり厳格に対応している団体も見受けられた。

最後に、厚生労働省よりまとめの報告がなされ、交流集会を終了した。

緊急サポートネットワーク・アドバイザー 直江圭祐

撤廃を求める街宣

「後期高齢者医療制度」に
もの申す！
「後期高齢者医療制度」を撤廃する会



「後期高齢者医療制度」に
異議あり
「後期高齢者医療制度」を撤廃する会



石川労福協は5月28日、金沢市武蔵町の名鉄エムザ前で「後期高齢者医療制度撤廃を求める」街宣行動を展開した。

午前11時30分より約1時間、昼食休憩するサラリーマンや近江町市場の買い物客へアピール。才田巖石川労福協専務理事の司会で始まった街宣は、石川労福協理事長の上田弘志連合石川会長が「欠陥だらけの制度は、すぐさま廃止にすべきだ！」などと指摘。佐々木良盛金沢地域ライフ・サポートセンター会長、川島靖石川県退職者連合会長、奥田建民民主党県総支部連合会幹事長、清水文雄社民党県連合幹事長が順にマイクを

握り、市民に「早期、廃止を！」と訴えた。

街宣車の周りでは、「後期高齢者医療制度・異議あり！」とするピラと、連合の「今こそ政策転換を！」のティッシュを労福協、LSC、労金、全労済、住宅生協、勤体協、勤文協、さわやかUや退職者連合、連合石川の役職員25名が配布した。また、地元新聞社2社とテレビ局2社が取材した。

この行動は、「後期高齢者医療制度」を撤廃する会（中央労福協、退職者連合、ニホン・アクティブライフ・クラブ、高齢協連合会の4者で構成）が、全国統一行動日を設定し、全国の地方労福協に撤廃に向けた街宣行動を呼びかけたもの。



県労福協事務局日誌

<5月>

- 25(日) クリーンピーちいしかわ
- 26(月) 金沢LSC第6回定期総会
- 27(火) 緊サポ全国情報交流集会
- 28(水) 後期高齢者医療制度撤廃街宣
〃 石川労福協第46回通常総会
- 29(木) 加賀LSC第6回定期総会
- 30(金) 労信協第1回理事会
〃 第41回勤体協総会
〃 羽咋LSC第6回定期総会
〃 珠洲・能登LSC第6回定期総会

<6月>

- 2(月) 事務局会議
〃 七尾・鹿島LSC第6回定期総会
- 3(火) 輪島・穴水LSC第6回定期総会

- 専光寺海岸
- フレンドパーク石川
- 東京
- 名鉄エムザ前
- フレンドパーク石川
- 加賀地区労働会館
- フレンドパーク石川
- フレンドパーク石川
- 羽咋労働福祉会館
- ラブリオ恋路

- フレンドパーク石川
- 七尾労働福祉会館
- 輪島労働福祉会館

- 3(火) 2008年石川県消団連総会
〃 第1回消費者学校
- 4(水) 小松・能美LSC第7回定期総会
- 5(木) 中央労福協「全国研究集会」(～6日)
〃 メーデー協賛第40回石川勤労者写真サロン展
- 6(金) 勤文協第39回通常総会
- 7(土) メーデー協賛「第14回囲碁・将棋大会」
- 10(火) 労信協「40周年記念式典・祝賀会」
- 12(木) メーデー協賛「チャリティゴルフ大会」
- 13(金) 北陸労金三県連合、労福協、労金連絡会議
- 18(水) 労信協第41回定期評議員会
- 20(金) 第6回福祉グラウンド・ゴルフ実行委員会
〃 さわやかU第8回通常総会
- 23(月) 生協連第43回通常総会
- 24(火) 北陸労金第7回通常総会

- フレンドパーク石川
- フレンドパーク石川
- サンルート小松
- 広島市
- ラブリオ片町
- フレンドパーク石川
- フレンドパーク石川
- 金沢都ホテル
- ツインフィールズ
- 北陸労金
- フレンドパーク石川
- フレンドパーク石川
- 労済会館
- フレンドパーク石川
- 県立音楽堂

地域ライフ・サポートセンター総会

各地域ライフ・サポートセンターの定期総会が県労福協の通常総会に合わせて相次いで開催され、新年度の活動方針や予算、役員補充などを決めた。

白山・野々市地域LSC



会 長	油 省三	全労済運営委員会
副 会 長	絹川 章	地域協議会
〃	成 正外志	労金友の会
〃	木藤 隆文	地域協議会
事 務 局 長	福村 滋	地域協議会
事務局次長	太田 敏信	全労済県本部
〃	北井 道夫	労金松任支店

金沢地域LSC



会 長	佐々木 盛	退職者連合
会 長 代 行	山口 幸男	地域協議会
副 会 長	上生 喜治	退職者連合
〃	長田 美智子	退職者連合
〃	柚木 稔	地域協議会
〃	浦 和彦	地域協議会
事 務 局 長	谷内 英明	L S C
事務局次長	富瀬 永	地域協議会
〃	吉田 寿子	地域協議会
〃	久富 象二	労金本店
〃	掛場 誠一	労金金沢南支店
〃	鈴木 隆史	労金金沢西支店
〃	松本 吉晃	労金県庁出張所
〃	南野 利明	全労済県本部

七尾・鹿島地域LSC



会 長	野田 昭一	労金友の会
副 会 長	佐藤 喜典	地域協議会
〃	数左 繁	平和運動センター
〃	梨田 浩司	友愛連絡会
事 務 局 長	井田 孝之	地域協議会
事務局次長	清水 嘉博	労金七尾支店
〃	宮本 均	全労済県本部

河北地域LSC



会 長	前後 和雄	勤労協
副 会 長	源 信彦	地域協議会
〃	安江 秀和	勤労協
〃	釜井 誠次	勤労協
事 務 局 長	吉川 武久	退職者連合
事務局次長	溝田 勝	労金本店

羽咋地域LSC



会 長	窪田 外志治	友愛連絡会
副 会 長	天満 信夫	地域協議会
〃	北出 宏之	勤労協
〃	藤井 敬一	羽咋労館
事 務 局 長	上田 清春	退職者連合
事務局次長	前田 俊彦	労金羽咋支店

輪島・穴水地域LSC



会 長	上野 正剛	地区労福協
副 会 長	園又 輝夫	労働会館
〃	池端 孝雄	地域協議会
〃	山岸 正臣	全労済推進委員会
事 務 局 長	萬亀 弦治	退職者連合
事務局次長	川上 嘉雄	労金輪島支店
〃	神戸 一朗	退職者連合

加賀地域LSC



会 長	中川 貢	地域協議会
副 会 長	中村 栄一	労福協理事
〃	中村 長一郎	地域協議会
〃	宮本 善夫	地域協議会
〃	小山 広喜	地域協議会
〃	林 長明	労金友の会
〃	上出 美津夫	全労済理事
事 務 局 長	伊藤 謙次	地域協議会
事務局次長	滝田 敏男	労金大聖寺支店
〃	中嶋 文男	退職者連合
〃	和角 学	全労済県本部

珠洲・能登地域LSC



会 長	大庭 毅	地域協議会
副 会 長	本間 清治	労金友の会
〃	新川 満	労金推進委員会
事 務 局 長	加藤 政道	労金友の会
事務局次長	南出 良明	労金珠洲支店
〃	掛場 健一	全労済県本部

小松・能美地域LSC



会 長	庭田 茂男	退職者連合
副 会 長	山田 剛	退職者連合
〃	納谷 広嗣	労金地区推進委会
〃	長田 孝志	退職者連合
〃	紺谷 充弘	地域協議会
〃	坂本 治路	地域協議会
事 務 局 長	辻 洋志	地域協議会
事務局次長	安村 裕之	労金小松支店
〃	山下 秀信	労金能美支店
〃	織田 泰範	全労済県本部

事業団体総会・評議員会

石川労福協を構成する労働者福祉団体の総会や評議員会が順次開かれ、事業方針や新役員などが決定された。なお、6月23日(月)には「石川県生活協同組合連合会第43回通常総会」(フレンドパーク石川)、6月24日(火)に「北陸労金第7回通常総会」(県立音楽堂)、7月30日(水)に「全労済石川県本部第34回通常総代会」(労済会館)がそれぞれ開催される。

住宅生協

第46回通常総代会



理 事 長	矢嶋 幸雄	住宅生協
常 務 理 事	上野 貞彦	〃
理 事	光林 邦彦	津田駒工業労組
〃	中村 栄一	大同工業労組
〃	城ヶ端 勇	北日本紡績労組
〃	奥井 良信	JR 西労組
〃	中江 信男	全日通労組
〃	水野 志郎	全労済石川
〃	本田 良成	全国一般
〃	山口 幸男	北陸鉄道労組
〃	幸正 勇人	北陸電力労組
〃	小林 宣之	情報労連
監 事	天満 信夫	石川サンケン労組
〃	島崎 靖夫	倉庫精練労組

勤文協

第39回通常総会



会 長	大樋長左衛門	員外
副 会 長	才田 巖	労福協
〃	狩山 久称	連合石川
事 務 局 長	田上 照夫	専従
事務局次長	元木 千明	労信協
幹事(一般)	山口 隆	労働金庫
〃	松岡 達郎	全労済
〃	上野 貞彦	住宅生協
〃	中野 俊一	勤体協
幹事(絵画)	浮田 正樹	員外
〃	関屋 賢次	〃
幹事(写真)	中井 敏雄	〃
〃	横越 侃二	〃
幹事(書道)	富瀬 永	連合金沢
〃	角 秀嶺	員外
幹事(文芸)	笠間 英雄	〃
〃	一明 政行	労福協・LSC
幹事(工芸)	川畑 衛治	員外
〃	北村 長一	〃
幹事(和紙)	北村 久美	〃
幹事(陶芸)	北村 鶴代	〃
幹事(華道)	山田 玉峰	〃
〃	竹内 幸	〃
〃	中村 雨光	〃
〃	小林 嶺智	〃
幹事(FD)	舟見柚有子	〃
監 査	宮本 一二	連合石川
〃	綿 征一	労福協
顧 問	氷田 清風	書道
〃	下村 正一	日本画
〃	端名 清	洋画
〃	中川 宏治	写真
〃	内島 一郎	〃
〃	飯田 雪峰	工芸
〃	杉村雄二郎	員外(統括)

勤体協

第41回定期総会

会 長	中谷 喜和	石川県議員
副 会 長	宮下 亮	連合石川
〃	絹川 章	〃
〃	長澤 博	勤体協
〃	松原 秋夫	〃
〃	高 芳晴	〃
〃	竹田なを美	〃
常 務 理 事	島崎 靖夫	連合石川
〃	新明 宏	〃
〃	村本 直樹	〃
〃	長澤 勲	〃
〃	東 和雄	〃
〃	小林 成夫	〃
〃	中 敏和	〃
〃	宮川 吉男	小松市議員
〃	岡田 和夫	勤体協
〃	筒井 昭好	〃
〃	安藤 登	〃
〃	北川 剛	〃
〃	菊知富次雄	〃
〃	中田 清	〃
〃	得田美和子	〃
〃	上野 栄子	〃
〃	山下 義行	〃
〃	高宮 良貴	〃
〃	喜多 洋	〃
〃	一森 孝彦	〃
事 務 局 長	中野 俊一	〃
監 事	米田 宗雄	連合石川
〃	酒井 敏次	〃

労信協

第41回定期評議員会



理 事 長	川口 昭一	労福協
専務理事	奥村 寛道	北陸労働金庫
理 事	渋谷 秀行	石川県
〃	吉田 歩	金沢市
〃	小泉 博	町長会
〃	古立 匡彰	連合石川
〃	津野 忠司	〃
〃	宮本 一二	〃
〃	才田 巖	労福協
〃	長田 孜	北陸労働金庫
監 事	栗森 慨	地方議員団
〃	宮下 亮	連合石川
〃	曾谷 修	〃

さわやかU

第8回通常総会

理 事 長	澤 信俊	金沢星稜大学
副 理 事 長	上田 弘志	労福協
〃	梅澤 彰人	北陸労働金庫
〃	橋本 和雄	全労済
〃	坊 真彦	連合石川
〃	北尾 強也	連合石川法曹団
理 事	長澤 博	県退職者連合
〃	才田 巖	労福協
〃	狩山 久弥	連合石川
〃	宮本 一二	労信協
〃	大村 正人	北陸労働金庫
〃	水野 志郎	全労済
〃	綿 征一	労福協
〃	野村 昇司	県職労
監 事	田上 照夫	勤文協
〃	山口 隆	北陸労働金庫



2008年度
全国研究集会

支え合い、助け合い、 ぬくもりのある社会を目指す

中央労福協主催の「2008年度全国研究集会」が6月5日～6日、広島市「ANAクラウンプラザホテル広島」で開催。全国から集まった地方労福協や各事業団体、連合の代表者ら290名は、「支え合い、助け合い、ぬくもりのある社会を目指す労働福祉運動を」をテーマに研修した。



秋葉市長

初日は、高橋均中央労福協事務局長が主催者挨拶、開催県の宮地稔広島県労福協会長と城納一昭広島県副知事の歓迎挨拶で始まり、引き続き行われた特別講演Ⅰでは、秋葉忠利広島市長が「21世紀を広島の時代に－世界のモデル都市実現に向けて－」と題し講演。「広島市で実現しているさまざまな活動が世界のモデルと捉えていただきたい」と前置きし、広島市の財政健全化に向けた取り組みや温暖化対策等を説明し、「多くの都市は、これまで市民と苦楽を共にしてきた。これからは都市をモデルに国を創るべき」と話し、現在、広島駅横に建設中の新広島球場へ「是非、足を運んでいただきたい」と結んだ。



宇都宮弁護士

次に、宇都宮健児弁護士が「労働運動、消費者運動、社会保障運動の連携・提携に向けて」をテーマとする基調講演Ⅰの冒頭、一昨年より労福協や労働組合、弁護士会、司法書士会、被害者団体、消費者団体らと活動し、歴史的勝利を収めた金利引き下げ・貸金業法改正運動を高く評価した後、「多重債権を一度清算しても、その後の生活を考えてあげないと、またサラ金へ走ってしまう」と多重債権者の貧困と生活苦の実情を報告し、今年7月～10月に実施する『反・貧困、全国2008キャラバン』を「成功させよう」と訴えた。



井巻社長

休憩後の特別講演Ⅱは、井巻久一マツダ(株)代表取締役社長が「マツダのめざすもの」と題し講演。最初に、「あなたはお茶を飲むときどうされますか？」と問いかけ、「マツダはフォードから社長を迎え、アメリカ文化の社長と日本文化の従業員がマツダをどのように立て直すかに社運がかかっていた」と話し、「日



本はお茶をすすめる文化であり、音を立ててお茶を飲むが、アメリカはスープの音を立てずに飲む。互いに文化の違いを理解することが会社再建の第一歩であった」と話し、「物造りの基本は人造りであり、『銭は有限、知恵は無限』を基本に運営してきた」と再建までの苦労を人情深く紹介した。



笹森会長

2日目の基調講演Ⅱは、笹森清中央労福協会長が「広く市民に根ざした新しい労働者福祉運動を」と題し講演。戦前・戦後の労働運動や労福協、政党、社会の変化を説明し、「働く人たちが、労金・労済、生協連を作ってきた歴史がある。我々は今一度何のために作ったのかを振り返るべき」と話し、「人生50年から80年時代へ変わった社会情勢やパート労働者が全体の3分の1を占める状況を理解し、新しい労働福祉運動を進めることが必要」と強調した。

研究集会の最後の「意見交換」では、笹森会長をコーディネーターに江花和郎新潟県労福協会長、瀬戸良寛大阪労福協事務局次長、嶋崎龍生大分県労福協会長がそれぞれ、ライフ・サポートセンターの設立の経過と活動を報告し、会場からの意見を含め、笹森会長が「パッション(情熱)、ミッション(使命)、ファッション(変える)、アクション(行動)を持って、ぬくもりのある、思いやりのある社会を実現しよう」とまとめた。

最後に高橋中央労福協事務局長が「弱肉強食・格差社会を変えよう」と研究集会を総括、植本眞砂子中央労福協副会長が閉会挨拶し、2日間の研修集会を終了した。

今回の研修集会には、石川労福協から才田巖専務理事、綿征一常務理事、石川労信協の川口昭一理事長、北陸労働金庫の奥村寛道上席推進役、LSCから一明政行事務局次長が参加した。

県ライフ・サポートセンター事務局次長 一明政行

第79回
メーデー協賛行事

各種目に熱戦を展開

連合石川主催による「第79回メーデー協賛行事」は、後半の種目が相次いで開催された。

「第8回グラウンド・ゴルフ大会」は5月21日(水)、金沢市民芸術村の大和町芝生広場で県退職者連合傘下の選手47チーム・226名が参加して開催された。

「第14回囲碁・将棋大会」は6月7日(土)、フレンドパーク石川で開催され、連合石川と県退職者連合などから愛好者54名が参加。囲碁・将棋の部ともスイス方式でブロックごとに各4回戦を行い、それぞれ勝敗(個人戦のみ)を決めた。

「第19回ふれあいチャリティゴルフコンペ」は6月12日(木)、小松市のゴルフクラブツインフィールズで連合石川や労福協、ライフ・サポートセンター、事業団体、県退職者連合などから170名の選手が参加。ゴールドとダイヤモンドコースに分かれて競い合った。なお、チャリティ募金が135,895円集まった。

また、メーデー協賛行事で石川県勤労者体育協会主催「第7回綱引競技大会」が5月25日(日)、金沢市城西体育館で男子に5チーム、混合に3チームが出場、リーグ戦で争われた。

第8回 グラウンド・ゴルフ大会



団体戦

優勝	コマツA	スコア292
	(宮越信夫、二口谷勇、高林 裕、長 英明)	
2位	全通金沢退職会D	スコア308
	(坂井 茂、富田喜孝、井口代子、大畑外志雄)	
3位	帝人ネステックスOB友の会A	スコア314
	(北出正稔、新木喜久次、江守幹夫、新城弘行)	

個人戦

優勝	二口谷 勇(コマツA)	スコア 60
2位	大畑外志雄(全通金沢退職会D)	〃 66
3位	山崎きよみ(全通北能登B)	〃 69



入賞者の皆さん

第19回 ふれあいチャリティゴルフ大会

ゴールドコース



入賞者

優勝	坂本 治路(電機連合)	グロス 88 ネット 72.40
2位	山下 秀信(北陸労金)	グロス 89 ネット 73.40
3位	山田 洋秋(私鉄総連)	グロス100ネット73.60
バツ加	小西 直(退職者連合)	グロス 81

ダイヤモンドコース



入賞者

優勝	田中 健二(国公総連)	グロス 96 ネット 69.60
2位	安江 善朗(情報労連)	グロス 91 ネット 70.60
3位	楠 順(自治労)	グロス 99 ネット 71.40
バツ加	五反田久雄(私鉄総連)	グロス81

第14回 囲碁・将棋大会



【囲碁の部】

Aブロック(3段以上の高段者)

優勝	西永 正雄(J P労組)
2位	中側 昌英(J P労組)
3位	菅原外美夫(私鉄総連)

Bブロック(初段~2段の段位者)

優勝	北島 樟(U Iゼンセン同盟)
2位	竹島 弘幸(北陸電力労組)
3位	村上 孝三(情報労連)

Cブロック(級位者)

優勝	三井 雅司(U Iゼンセン同盟)
2位	小田 英雄(北陸電力労組)
3位	酒井 達温(J A M北陸)

【将棋の部】

Aブロック(3段以上の高段者)

優勝	松田 裕幸(電機連合)
2位	生瀬 亨(自治労)
3位	日元 良英(J A M北陸)

Bブロック(初段~2段の段位者)

優勝	高野 雄輝(自治労)
2位	青木 哲也(情報労連)
3位	岡本 博(電機連合)

Cブロック(級位者)

優勝	上岸 夕月(全国一般)
2位	森下 諭(私鉄総連)
3位	南出 秀幸(私鉄総連)



第7回 綱引大会



男子の部

優勝	日通小松運輸労組
2位	城西物流倉庫労組
3位	北陸電力労組

混合の部

優勝	倉庫精練労組二塚支部
2位	倉庫精練労組米丸支部
3位	城西物流倉庫労組

勤文協
主催

第40回県勤労者写真サロン・フローラルアート展
写真と花、力作64点を展示

石川県勤労者文化協会主催・第79回メーデー協賛の「第40回県勤労者写真サロン・フローラルアート展」が6月5日の金沢展から8月10日の松任展まで、県内9会場で開催される。

金沢市のラブロ片町アートシアターいしかわで開かれた金沢展では、県内のアマチュア愛好者の写真43点と色鮮やかなフローラルアート21点が出品された。

写真サロン展は、金沢展終了後、珠洲市ラポルトす

ず市民ギャラリー、
美川コミュニティ
プラザ、能美市根上
総合文化会館、アビ
オシティ加賀情報
プラザ、フォーラ
ム七尾パトリア中

ホール、輪島市文化会館展示室、小松大和ふれあい
ギャラリー、プラスあさがお松任と巡回する。

法邑一男▽七尾市長賞
 行政▽小松市長賞 大川一明
 み▽輪島市長賞 宮西清紀▽
 加賀市長賞 上田清▽白山市
 長賞 北野廣希▽能美市長賞
 玉岡さゆき▽珠洲市長賞
 大木善伯▽第9回メーデー賞
 河村由紀子▽佳作 潮澤優
 子、馬場義和、橋場義昭、高
 山茂子
 ▽フラー▽の部▽銀賞 架
 谷和夫▽銅賞 辰野佐陽子▽
 佳作 石橋美幸 竹田真紀子
 柳田美幸

珠洲・能登地域LSC
老人福祉施設へ花苗贈呈

珠洲・能登地域ライフ・サポートセンターは6月5日(木)、午前9時半から例年行っている老人福祉施設への花苗贈呈を実施した。

当日は、朝から小雨が降り肌寒い日となったが、2組に分かれ珠州市と能登町の6カ所の施設を訪問し、花苗を手渡した。

今年は花の種類も多く、施設のお年寄りや関係者に大変喜ばれ、清々しい気持ちとなった。ただ残念だったのが、贈呈時期が遅く花が少し枯れていたの、来年はもう少し早い時期に実施したいと思う。

珠洲・能登地域 L S C 事務局長 加藤政道



勤体協 春季体育大会を終了
主催

石川県勤労者体育協会主催「第42回春季体育大会」の最終種目である「ソフトボール大会」（野々市町健康広場）が6月15日、雨で順延されていたD組が行われ、サンブラザ（小松）が三西会（金沢）に1－0のサヨナラ勝ちを収

なお、「第41回夏季体育大会」は、6月29日より8月24日の間、4種目16会場で開催される。

▽予選リーグ ①サンブラザ②三西会③DZシャークス④武部⑤45ers⑥市場⑦のんべん⑧手取川RMC

▽決勝

三西会000000
サンブラザ00001x

(三) 河崎一垣地(サ) 石田織田

2008 第41回 石川県勤労者
夏季体育大会

[illegible]

主催
(申込先)

後援 北 国 新 聞 社
石 川 県 教 育 委 員 会
石 川 県 労 働 者 福 祉 協 議 会



勤文協会長賞
「夕映え」中村 克子（金沢市）



輪島市長賞
「里帰り」宮西 清紀（七尾市）



第79回メーデー賞
「棚田の豊かな人と農村田景」
河村由起子（金沢市）



北國新聞社長賞
「冬模様」元木 千明（金沢市）



加賀市長賞
「陽光」上田 清（金沢市）



金 賞
「涼風」浅地 佳子（金沢市）



金沢市長賞
「佳き日」法色 一男（金沢市）



白山市長賞
「春のおわりに」北野 廣希（能美市）



七尾市長賞
「寒天の放水」一明 政行（金沢市）



能美市長賞
「峡谷のいろ」玉岡さゆき（金沢市）



銀 賞
「アイビーシェード」架谷 和美（かほく市）



小松市長賞
「まつりの子」大川ひろみ（内灘町）



珠洲市長賞
「秋祭り」大山 善治（七尾市）



銅 賞
「季の予感」辰野佐陽子（金沢市）

クリーンキャンペーンに参加

食・緑・水ネットや連合石川、連合金沢、労福協・LSCは、毎年実施している「犀川ダム・内川ダムクリーンウォーク」と「クリーン・ビーチいしかわ」の両クリーンキャンペーンに参加した。

「犀川ダム・内川ダム クリーンウォーク」



5月24日(土)の「犀川ダム・内川ダム クリーンウォーク」は、金沢市企業局や犀川公民館、内川公民館が主催し、1995年から続けられている。

曇り空の当日、金沢市民の水がめの環境を守ろうと、金沢市企業局職員や公民館、民間会社、食・緑・水ネットなどの関係者約200名が午前8時30分、末浄水場に集合し、大型バスとマイクロバスで両ダムに分かれて出発した。

ダムに到着後、地元住民や小・中学生と合流し、公民館長の挨拶と企業局職員より注意事項・説明を受け、班ごとにダムの上流・下流・周辺に分かれて空き缶やたばこの吸い殻、古タイヤなどを拾い集めた。ゴミは1時間ほどで小型トラック2台分、約1トン弱収集した。

終了後、内川小・中学校玄関前で、当日ゴミ拾いに参加した約400名が集合し閉会式が行われ、校長やPTA会長、企業局局長が御礼の挨拶をした。

県消団連

総会と消費者学校を開催

2008年石川県消団連総会が6月3日(火)13時30分よりフレンドパーク石川2階ホールに代議員37名が出席し開催された。

総会では、田上照夫代表幹事が挨拶し、多賀憲二県民生活課長が来賓挨拶の後、2007年度活動・決算報告と2008年度活動方針・予算等を提案通り採択した。

消費者を取り巻く情勢は、食品の偽装表示や原油価格・穀物の高騰、後期高齢者医療制度の問題など、多くの課題が山積している。こうした中、地域

「クリーン・ビーチいしかわ」

「クリーン・ビーチいしかわ」は、県内市町が石川県の海岸線583kmを清掃する取り組みで、1995年から行われている。

5月25日(日)の県内統一デーでは、金沢市、白山市、能登町の計10会場の海岸で行われ、雨の中、県内の各種団体や企業から約6千名が参加した。

金沢市の専光寺海岸には、連合石川、連合金沢、労福協・LSC、食・緑・水ネットから計約200名の家族連れが午前7時過ぎから雨がっぱ姿で参加し、役員から軍手やゴミバサミを受け取った。同海岸には、その他、情報労連、市従組、各種企業・団体、公民館等から計約3000名が集まった。

開会式後、参加者はゴミ袋を手し、流木やペットボトル、空き缶、発泡スチロールなどを拾った。

同市内の6会場では、約1時間で約26トンのゴミが回収された。秋にも県内全域の海岸で清掃活動を行う。



岡山雅課長講演する

における消費者団体の役割が一層求められている。

役員改選では、田上照夫代表幹事や表重雄事務局長の再任をはじめ、副幹事5名、幹事7名、監事2名を選任した。

引き続き開催された「第1回消費者学校」は、岡山雅北陸農政局消費安全全部表示・規格課長が「食品表示をめぐる最近の情勢と国の取り組みについて」をテーマに講演。行政による監視・指導の強化と同時に消費者による監視「食品表示110番」や「食品表示ウォッチャー」等について説明した。